

# ペディラヴィウム会



## ペディラヴィウム会

ペディラヴィウム会は、創学期の国際基督教大学において、イエス・キリストの福音に根ざした真理の追求と豊かな人間教育の理想に献身された神田盾夫先生ご夫妻の薫陶を受け、その精神を継承し、新たに展開していくことを自らの使命と受けとった者たちにより 1972 年 6 月に発足しました。

2010 年 3 月、これまでの歩みを顧み、その基本理念を確認し、さらに新たな発展を期して、一般社団法人を設立し、文化催事、教育催事、研究会・学術会議の企画及び運営、親睦会の開催、学術情報提供サービス、機関誌の発行、図書・雑誌の出版 をおこなっています。

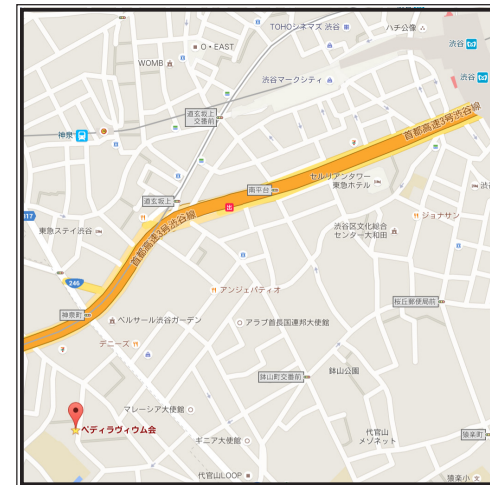
## ペディラヴィウム

ペディラヴィウム (Pedilavium) はラテン語起源の「足を洗うこと」です。新約聖書のイエスが弟子たちの足を洗った記事から、師弟や長幼の上下にかかわらず足を洗い合うという会の性格を表すものです。

(ヨハネ福音書 13 章 14 節)



## ペディラヴィウム会へのアクセス



©2015 Google, ZENRIN



©2015 Google, ZENRIN

## ペディラヴィウム青葉台 (会事務局)

〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-3-4

電話：03-3461-2495

FAX：03-3461-3549

メール：office@pedilavium.com

URL：http://pedilavium.sb.jp/

【最寄駅】京王井の頭線「神泉駅」徒歩 10 分

「渋谷駅」徒歩 17 分

渋谷駅からバス 停留所「大坂上」徒歩 3 分

## 会の沿革

1971年から準備され、1972年6月に発足しました。

国際基督教大学（ICU）の神田盾夫教授（1897.6.30～1986.7.19）と多恵夫人（1902.1.09～1982.9.29）を中心に教え子が集まりました。そこで、当初は、ICU同窓生が多かったのですが、いまでは多方面に開かれた会となっています。

神田先生ご夫妻から贈与された目黒区青葉台の土地に建物を建て一階に事務所をおき、株式会社ペディラヴィウムが管理運営しています。2010年には、一般社団法人ペディラヴィウム会を設立し、再出発しました。



## ペディラヴィウム御殿場

1919年、神田多恵子夫人の祖母、廣岡浅子さん（1849-1919年）が、女子教育の拠点のひとつとしていた御殿場新橋の土地を、神田盾夫先生に遺贈。

廣岡浅子さんは明治時代の女性実業家として活躍、また日本女子大学設立に尽力、当地では女性解放のための研修会を開催、市川房枝や村岡花子らが参加していました。廣岡浅子さんの生涯は古川智映子の小説『土佐堀川』で紹介されています。また2015年度下半期のNHKの連続テレビ小説『あさが来た』の主人公のモデルです。

第二次世界大戦中、神田先生夫妻は御殿場に疎開、東京帝国大学の講義にここから通勤。戦後、国際基督教大学構内に転居後も、夏季休暇は御殿場で過ごされ、学生や卒業生のための勉強会と集会開催。

国際基督教大学定年退職後、敷地内に新居建築。ペディラヴィウム会創設前後の集まりの多くも、御殿場で開かれました。

1982年、神田盾夫先生から、ペディラヴィウム会員80名に、土地建物寄贈。  
1986年神田先生逝去。以後、ペディラヴィウム会が管理。懇談会・研修合宿など開催。  
2013年、土地を売却し、跡地に建設された、マンション（ウイステリア御殿場アクシス）の106号室と107号室を取得。107号室に旧神田邸の家具・食器・絵画等を収納。  
廣岡浅子名義の土地が残る敷地の一部に、メモリアルガーデン造営。  
青葉台と並んで、この施設でも懇談会・研修会・講演会・演奏会等を開催。

## 刊行物

### 1) 親睦誌『ペディラヴィウム会通信』

会員同士の交流を深めることを第一義としながらも、ひろい情報交換を目指しています。(2015年現在37号)

### 2) 紀要『ペディラヴィウム ヘブライズムとヘレニズム研究』

古代ギリシア・ローマに関する西洋古典学、旧約聖書研究と新約聖書学を中心とするヘブライズム研究の両分野を視野に置く研究論文誌。(2015年7月現在69号)

### 3) 『西洋精神の源流と展開』(1975年)

神田盾夫博士喜寿祝賀論文集 会員が中心となって神田先生に献呈

### 4) 『聖書と英文学をめぐって』(1982年)

神田盾夫博士傘寿記念論文集 3)と同じく祝賀論文集

### 5) 『神田盾夫・多恵子—記念文集』(1987年)

神田先生ご夫妻の追悼文集

### 6) 『古代ギリシアの女性像—女神から娼婦まで』(1994年、ペディラヴィウム会)

連続講演会の講演と質疑応答と討論を録音編集して刊行したものです。

【目次】	古代ギリシアの女性像（茅野友子）	エウリピデスのメデア像（川島重成）
	ミュケーナイ時代の大地母神（安村典子）	エロースの位相（古澤ゆう子）
	アリストパネスの女性たち（荒井直）	アテーナイの娼婦（平田松吾）

### 7) 『パストラル 牧歌の源流と展開』(2013年、ピナケス出版)

【目次】	パストラル概観（古澤ゆう子）
	テオクリトスの『牧歌』とその先駆者たち（安村典子）
	牧歌の始祖テオクリトスの『収穫祭』（古澤ゆう子）
	旧約聖書におけるパストラル（並木浩一）
	ウェルギリウス『牧歌』に描かれる牧歌世界の危機（河島思朗）
	ウェルギリウス『牧歌』第4歌における黄金時代 —イザヤ書のメシア預言との類似性をめぐって—（川島重成）
	英文学におけるパストラル思想—シェイクスピア『お気に召すまま』を中心に—（茅野友子）
	ミルトン『リシダス』『ダモン葬送詩』におけるパストラルの伝統（佐野好則）
	音楽におけるパストラル（金澤正剛）
	アルカディアと御殿場—あとがきにかえて—（茅野友子）